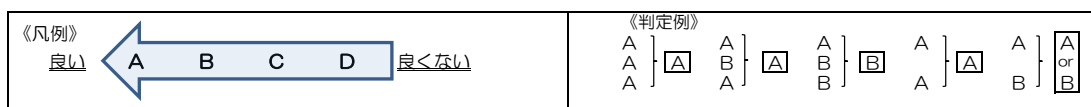


事業名	バックステージツアー						
ジャンル	家庭教育	・	青少年教育	・	成人教育	・	団体育成
事業分類	実際生活に即する教育 ・ 学術及び文化に関する各種の事業 (社会教育法第20条「公民館の目的」より)						
事業意図	住民の教養の向上 ・ 健康の増進 ・ 情操の純化 (社会教育法第20条より)						
事業目的	生活文化の振興 ・ 社会福祉の増進 (社会教育法第20条より)						
日程	8月3日 木曜日	講師	音楽ホール職員	参加費	無料		
対象者	市内小学生と保護者	参加者数 (延べ)	9人	募集方法	こうほう佐倉		
趣旨	舞台裏の見学と体験を通じて舞台運営の仕事を理解することを入り口として、広い意味では職業体験によって子ども達が「働く」ということについて考え、そのことが、「生きる力」につながって行く機会を提供することを目的として実施します。						
内容	普段目にする事の無いコンサートや演劇の舞台裏を、目の当たりにするだけではなく、本物の機材を専門スタッフの指導の下に操作することで、華やかな舞台を、連携作業で共に支える舞台・音響・照明の仕事を体験します。						
工夫	其々の見学場所で操作体験などをする為、グループに分かれての見学となります。音響室では、近年の小学生は見たことの無いカセットテープレコーダーでの録音再生を行ったり、調光室では、色付きの光を混ぜて異なる色を作り出す操作を体験します。(絵具は3原色を混ぜると黒くなりますが、光の3原色を混ぜると白くなります。) 日常なかなか体験できない事を組み込んでいます。						
成果	本物の機材に触れて、操作する体験は、小学生にとって貴重な機会であり、想像とのギャップを事業後の感想で語ってくれた参加者もあり、百聞は一見に如かずの典型を実践でき、参加者の記憶に残る体験を提供することが出来た。						
課題	中学校で実施する職場体験(キャリア教育)などへ繋がって、今回の経験を基にステップアップが図られると、生徒が他人の生き方や働くことの大切さなどを学び、自分の生き方や将来を考える機会ともなり本事業の趣旨が生きてくると思うが、職場体験として受け入れの体制が取れるのかが課題。						

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	<ul style="list-style-type: none"> 公民館が行う必要があるか。 市民や利用者のニーズに合っているか。
優先性	A	<ul style="list-style-type: none"> 事業の優先度は高いか。
公平性	B	<ul style="list-style-type: none"> 対象者に情報は流れているか。 受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	A	<ul style="list-style-type: none"> 期待通りの成果が得られているか。 さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 市民の満足度は高いか。
効率性	B	<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性はどうか。 事業運営に学習者が参画しているか。 他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果はある程度ある。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。
特記		



次年度展望	②	①: 事業拡大 ④: 目的達成により終了	②: 現状規模で継続 ⑤: 統合・改善・その他	③: 事業縮小
-------	---	-------------------------	----------------------------	---------

☆公民館運営審議委員付帯意見

(A：適切で成果あり B：成果はあるが、改善の余地あり C：要改善)

委員①		(特になし)
総合評価	A	

委員②		コンサートや演劇など、脚光を浴びる部分には誰しもが興味を持ち、ひきつけられるが、その舞台裏やスタッフの動きを学ぶ機会は非常に興味深い企画である。課題に、中学校の職場体験との連携について述べられているが、中学校ではコロナ禍を機に、以前行っていた「地域に出ていく職場体験」という形ではなく、校外学習と抱き合わせで実施したり、地域の企業の方々を校内に招いて講話をいただいたりする形が主流となっている。そういう意味では、小中連携の中でキャリア教育を考え、そのことがこういった公民館の事業とも関連できるようなると良いのではないか。
総合評価	A	

委員③		キャリア教育として、働く人の学習としてよかった。工場見学の要素とステージプロデュースの体験は、とても興味を掻き立てている。
総合評価	A	

委員④		普段見られない舞台裏で観たり触れたりして、参加者は興味津々だったと思います。少人数での体験も良かったかもしれません。全部のストリートオルガンの音色が聞けてうらやましいです。
総合評価	A	

委員⑤		身近な建物ですが、バックヤードに入る事はなかなか無いので良い体験と思います。もう少し参加人数を増やせると良いかなと。
総合評価	A	

委員⑥		華やかな舞台の裏側で働く方々の仕事を実際に体験でき小学生にとって貴重な経験ができ良かったと思います。更にこの経験がステップアップするとういと思います。
総合評価	A	

委員⑦		市民音楽ホールと連携した他では体験できない素晴らしい企画です。席に座り舞台の演奏やパフォーマンスに集中するお客さんからは全く見えない音響反射板の裏や客席後方の音響や照明を担当する空間が職人さんたちの仕事場です。それだけではありません。舞台の天井には出演者に当てる無数の照明器具が吊り下げられ、客席から見えないように目隠しが施されています。職人さんが緊張感をもって、最大の注意を払うのは吊り物の落下などから出演者の安全を守ること。同時に重要なのがすべてのお客さんが舞台だけに集中して快適な時間を過ごし、大満足で帰途に着くことを保証することです。これを少人数で効率的に管理している状況を説明されれば、参加した児童にとっては驚きの世界です。普段、何気なく軽く見過ごす裏に、実はとんでもないお金と手間暇がかかっているということも分かってもらい、将来こんな仕事に就きたいなど関心を持ってもらえたら成果ありでしょう。ここで登場した職人さんとは、市役所の職場との行き来で仕事をしている職員だということも憶えておいて欲しいですね。
総合評価	A	

委員⑧		〇ワクワクするようなツアーは、小学生だけではもったいないです。ステージ経験のある中学生や高校生にも是非バックステージを知ってほしいと思います。職場体験として確保されていないのならなおさらです。コロナ禍でステージ経験が中々できなかった子どもたちならなおさらです。〇もう一つ、バックステージの機能やスタッフの作業が、観客にどう見えているのかと合わせて学ばせたいです。この日のホールは何もなかったのなら、せめてこの参加人数ならば別の日に素敵なステージ発表も見せることも考えてはいかがでしょうか。無理ならば、参加者がステージに立ち歌ったり踊ったりするのを見合うのも考えられます。手をあげる子どもが増えると思います。
総合評価	B	

委員⑨		バック・ステージ・ツアーは音楽ホールとの複合施設である臼井公民館ならではの事業であり、毎年開催されることは良いと思います。照明や音響の操作体験やピアノ庫の見学は小学生にとって貴重な体験になったと思います。
総合評価	A	

委員⑩		普段は関係者以外は立ち入れない舞台裏の見学と、本物の機械操作などを通して、舞台・音響・照明係りなどの仕事を体験出来る事業で、子供だけで無く保護者の方もツアーに満足されたのではないかと思います。ツアーを体験された方は、客席で音楽鑑賞などをされると、見学された舞台裏のことなどを思い浮かべながら鑑賞されると思います。これからもツアーを継続され、多くの方に舞台裏を見学していただきたいと思います。
総合評価	A	

委員⑪		普段経験できないものを体験するよいテーマだと思います。視察だけでなく、照明・音響等実際操作する体験も検討して頂きたい。
総合評価	A	

委員⑫		とても素晴らしい発想で子どもたちにとってもワクワクする体験であったと思います。PAや照明等、裏方としてステージを盛り上げていただいている方々の、専門的な技術を間近に観られることは子どもたちに大きなインパクトを残しているはずです。もし、できるのであれば、PA、照明を使用するなかで、実際に舞台上で子どもたちがパフォーマンスする機会を与えていただきたらと思います。
総合評価	B	

委員⑬		1. 事業内容は興味の湧く内容でいいと思います。 2. 夏休みの事業内容としては、もっと参加者が多くていいと思います。SNS等、募集方法も活用されたらと思います。
総合評価	A	

委員⑭		知的活動は知的好奇心を育て、人生の選択に一道になると思うと楽しい事業です。しかし、目標の募集人数に達しないのは何故なのか要検証ですね。
総合評価	A	

委員⑮		報告書に基づく館長の説明が音楽ホールでした。ハーモニーホールに改称しました。パソコン上書き保存で修正してください。
総合評価	B	